

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第6週の発生動向

全数報告の感染症 (6週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：百日咳 2 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	肺結核	—
5類	百日咳	延岡	10歳代	男	—	持続する咳、嘔吐
		高千穂	60歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、嘔吐

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,361 人(定点当たり 31.6)で、前週比 71%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

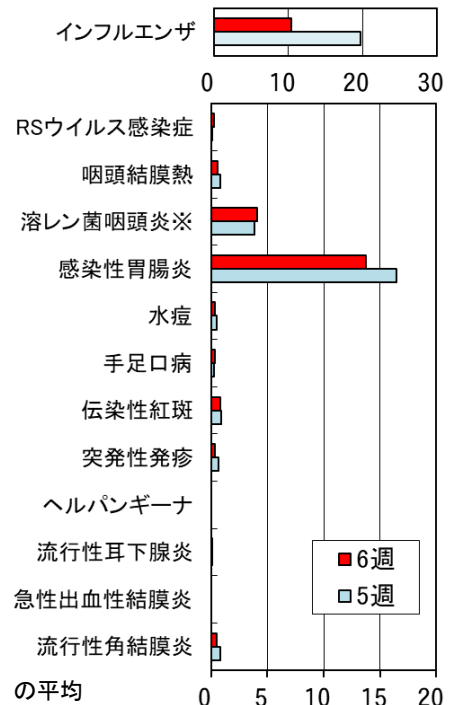
報告数は 614 人(10.4)で、前週比 53%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値*(38.1)の約 0.3 倍であった。中央(35.0)、延岡(11.0)、日南(10.2)保健所からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は 495 人(13.8)で、前週比 84%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(9.9)の約 1.4 倍であった。日南(18.0)、高鍋(16.5)、小林(15.3)保健所からの報告が多く、年齢群別では 1~3 歳が全体の約 4 割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

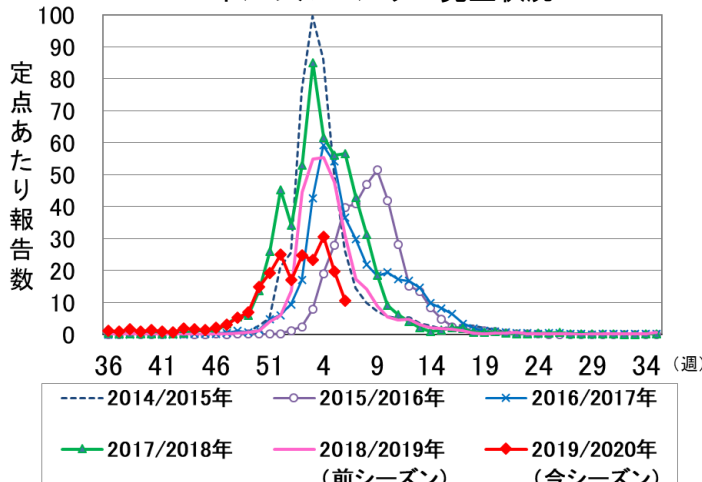
《前週との比較》



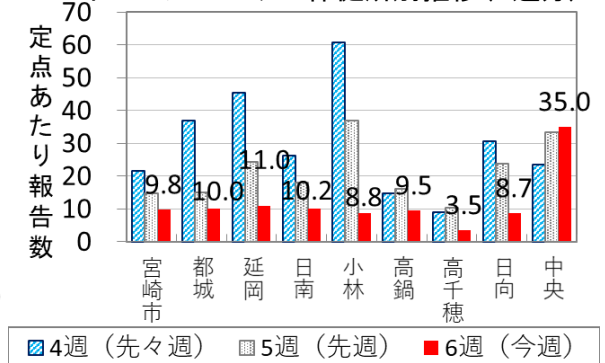
定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

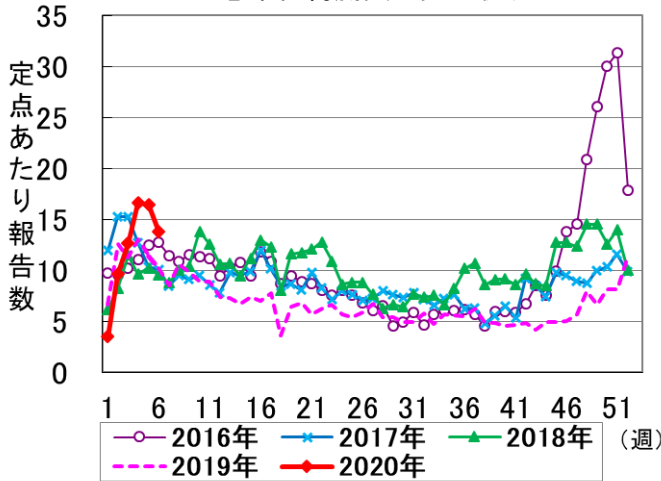
インフルエンザ 発生状況



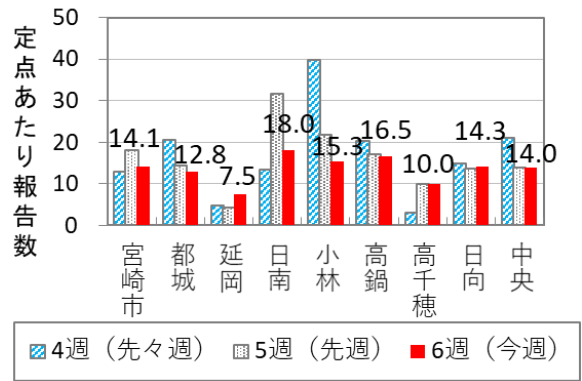
インフルエンザ 保健所別推移 (3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移 (3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	インフルエンザ(10.0),伝染性紅斑(2.0)
延岡	インフルエンザ(11.0)
日南	インフルエンザ(10.2)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	伝染性紅斑(2.8)
中央	インフルエンザ(35.0),水痘(3.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・インフルエンザ(30)
- ・水痘(2)
- ・伝染性紅斑(2)

* 流行注意報レベル基準値*

- ・インフルエンザ(10)

全国 2020 年第 5 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 5 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	305 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	20 例		
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	2 例	つつが虫病	3 例
	デング熱	4 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	21 例
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	14 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	14 例	クリプトスポリジウム症	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	18 例	後天性免疫不全症候群	15 例
	侵袭性インフルエンザ菌感染症	5 例	侵袭性肺炎球菌感染症	38 例	水痘 (入院例)	3 例
	梅毒	88 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	126 例
	風しん	2 例	麻しん	1 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 87%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと水痘であった。

インフルエンザの報告数は 70,076 人(14.1)で前週比 78%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値*(38.0)の約 0.4 倍であった。高知県(21.2)、愛知県(19.8)、宮崎県(19.7)からの報告が多く、年齢群別では 5~9 歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 21,947 人(6.9)で前週比 97%とほぼ横ばいであったが、例年同時期の定点当たり平均値*(6.4)の約 1.1 倍であった。宮崎県(16.4)、香川県(14.5)、大分県(13.0)からの報告が多く、年齢群別では 1~3 歳が全体の約 4 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第06週(02月03日～02月09日)

疾病名		第5週	第6週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1160	614	156	100	77	51	44	57	7	52	70
	定点当り	19.66	10.41	9.75	10.00	11.00	10.20	8.80	9.50	3.50	8.67	35.00
RSウイルス 感染症	報告数	4	10	3		3			2		1	1
	定点当り	0.11	0.28	0.30	0.00	0.75	0.00	0.00	0.50	0.00	0.25	1.00
咽頭結膜熱	報告数	29	22	5	5	2	6				2	2
	定点当り	0.81	0.61	0.50	0.83	0.50	2.00	0.00	0.00	0.00	0.50	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	140	148	76	13	7	8	17	11		12	4
	定点当り	3.89	4.11	7.60	2.17	1.75	2.67	5.67	2.75	0.00	3.00	4.00
感染性胃腸炎	報告数	592	495	141	77	30	54	46	66	10	57	14
	定点当り	16.44	13.75	14.10	12.83	7.50	18.00	15.33	16.50	10.00	14.25	14.00
水痘	報告数	18	12	1	3	2		2	1			3
	定点当り	0.50	0.33	0.10	0.50	0.50	0.00	0.67	0.25	0.00	0.00	3.00
手足口病	報告数	10	12	6		5					1	
	定点当り	0.28	0.33	0.60	0.00	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	34	29	4	12	2					11	
	定点当り	0.94	0.81	0.40	2.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	2.75	0.00
突発性発しん	報告数	24	14	7	2	2		2			1	
	定点当り	0.67	0.39	0.70	0.33	0.50	0.00	0.67	0.00	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	2			1					1	
	定点当り	0.08	0.06	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	5	3	2		1						
	定点当り	0.83	0.50	0.67	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～6週)

2類感染症	結核	16例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例		
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	7例
			レジオネラ症	3例
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	3例	水痘(入院例)	1例
			百日咳	4例(2)

()内は今週届出分、再掲

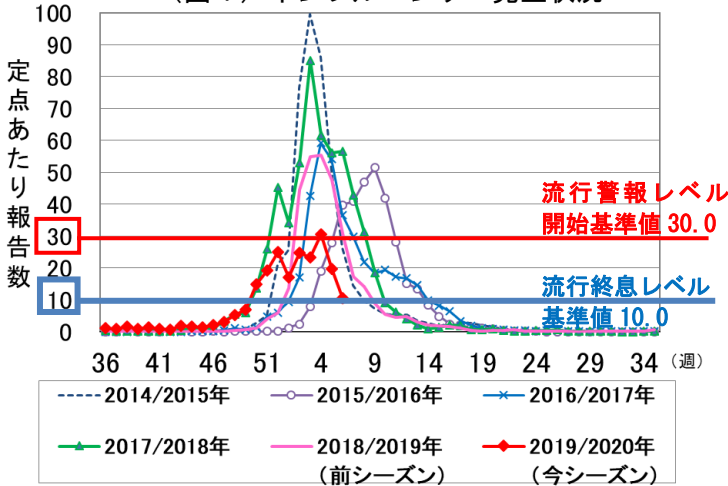
インフルエンザ情報 《県内第6週、全国第5週（再掲）》

□ 県内第6週インフルエンザ発生動向

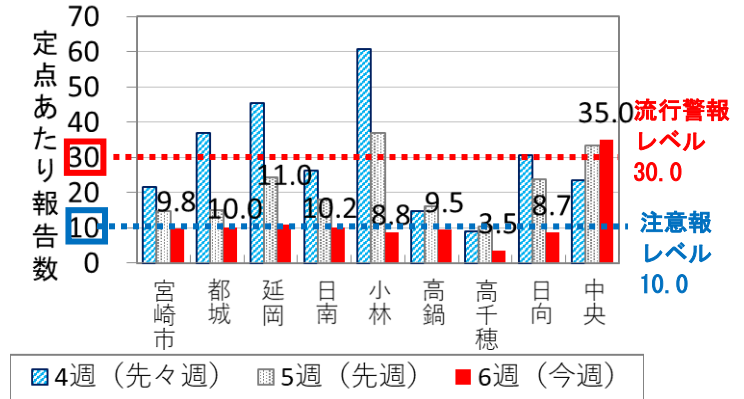
2月3日～2月9日までの1週間で614人（10.4）の報告があった。前週の約0.5倍と減少し、例年同時期の定点あたり平均値*（38.1）の約0.3倍である（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の27%、5-9歳が30%、10-14歳が19%、15-19歳が5%、20-59歳が15%、60歳以上が4%を占めている（図3）。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

（図1）インフルエンザ発生状況



（図2）インフルエンザ保健所別推移(3週分)

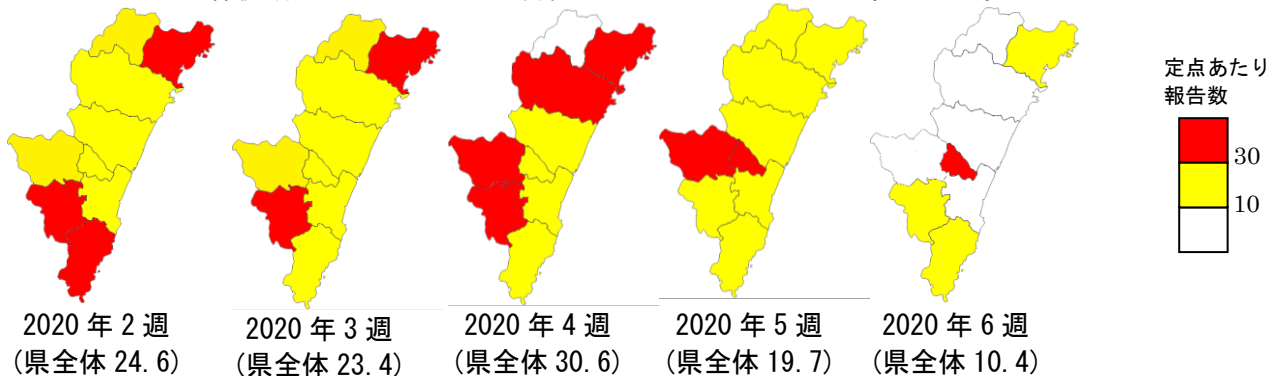


（図3）年齢群別割合の推移(2020年第2週～第6週)

2週 1,454人	21%	23%	14%	4%	29%	9%
3週 1,380人	20%	28%	19%	4%	22%	7%
4週 1,803人	21%	32%	20%	6%	16%	5%
5週 1,160人	20%	31%	23%	5%	15%	6%
6週 614人	27%	30%	19%	5%	15%	4%

□ 5歳未満 □ 5～9歳 □ 10～14歳 □ 15～19歳 □ 20～59歳 □ 60歳以上

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2020年第2週～第6週



□ 全国第5週インフルエンザ発生動向

1月27日～2月2日までの1週間で70,076人（14.1）の報告があり、前週の約0.8倍と減少した。高知県（21.2）、愛知県（19.8）、宮崎県（19.7）からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の18%、5-9歳が35%、10-14歳が20%、15-19歳が4%、20-59歳が18%、60歳以上が5%であった。